



2026年8-9月 夏期語学研修プログラム 第2回オリエンテーション

-全プログラム共通-

単位について（学部生のみ）

PDF資料：[2026年度 語学研修単位について入学年度別.pdf](#) ※SICアカウントでログインしてご覧ください。

【全学部対象】プログラムによっては、国際部が修了証を集める場合があります。修了証を提供されない場合、単位認定はなされませんのでご注意ください。

プログラム		工学部（2024年度以降の入学者）			工学部（2023年度以前の入学者）			国際学部		システム理工学部			デザイン工学部	
		科目名	単位数	単位認定手続き	科目名	単位数	単位認定手続き			科目名	単位数	単位認定手続き	科目名	単位数
4週間	ローワン大学	海外語学演習1～4	2	プログラムを完遂することの他に、外国語能力運用アンケート(留学・海外研修事前調査と留学・海外研修事後調査の両方)に期限までに回答すると単位認定されます。(N評価)	海外語学演習1～4	2	プログラムを完遂することの他に、外国語能力運用アンケート(留学・海外研修事前調査と留学・海外研修事後調査の両方)に期限までに回答すると単位認定されます。(N評価)	海外語学演習1～4	2	(2026年度入学者) 海外英語研修1～2 (2025年度以前入学者) 海外英語研修1～II	2	「海外英語研修I～II」「海外英語研修1～2」は、単位取得のために、帰国後に面接が必要です。(SABCD評価) 学生は履修登録不要です。	英語圏の言語と文化	2
2週間	グアム大学	海外語学演習1～4 (短期)	1	期限は別途、国際部から案内されるプログラム終了後対応期切と同日です。 事前事後一方でも未回答	工学英語研修1～4	1	期限は別途、国際部から案内されるプログラム終了後対応期切と同日です。 事前事後一方でも未回答	海外語学演習(短期) 1～4	1	(2026年度入学者) 海外短期英語研修1～2 (2024年度・2025年度入学者) 海外短期英語研修1～II (2023年度以前入学者)	1	「海外短期理工学英語研修I～II」「海外短期英語研修1～II」「海外短期英語研修1～2」は、プログラムを完遂すれば、自動的に単位認定されます。(N評価) 学生は履修登録不要です。	英語圏の言語と文化 (短期プログラム)	1

5/20(水) 発信済
件名：【重要：回答必須】語学研修渡航前アンケートと単位認定について

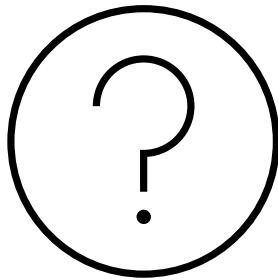
		(短期)					1～4		海外短期英語研修1～II (2023年度以前入学者) 海外短期理工学英語研修1～II					(4週間相当) 「英語圏の言語と文化(短期プログラム)」1単位 (2週間相当)
40	インド工科大学 マドラス校	海外語学演習1～4 (短期)	1		工学英語研修1～4	1	海外語学演習(短期) 1～4	1	(2026年度入学者) 海外短期英語研修1～2 (2024年度・2025年度入学者) 海外短期英語研修1～II (2023年度以前入学者) 海外短期理工学英語研修1～II	1		海外工学英語研修	1	「海外工学英語研修」1単位 (2週間相当)

- ・海外留学プログラムは、テロ、政変、天災等の不確定要素により中止となる場合もあります。
- ・単位の認定期は原則実施した"翌期"となります。
- ・留学プログラムの単位取得状況により進級要件、卒業要件等に影響が出ることのないよう履修計画を組み立ててください。
- ・語学研修の単位認定方法について上記に概要を記載しますが、卒業要件への算入可否や認定される科目区分等の詳細については「学修の手引」で確認するか、学生課にお問い合わせください。
- ・リピーター（同じ協定校の語学研修に複数回参加する場合の取扱について等）の取扱については、次のスライドをご確認ください。
- ・大学院生は、語学研修プログラムの単位認定制度はありません。
- ・また、学部4年生時に参加の場合も、単位認定が翌期となります。（春渡航の場合、実質単位付与はできません。）

渡航後の対応

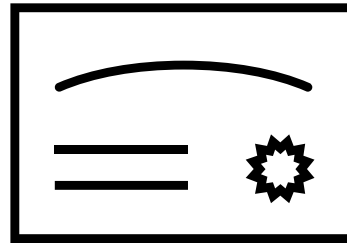
プログラム終了日までに、提出フォームを
プログラムごとにメールで案内しますので必ずご確認ください。

各種アンケートへの回答



- ・【事後】外国語運用能力アンケート
- ・語学研修実施後アンケート
- ・【事後】奨学金アンケート ※奨学金対象者のみ

修了証の提出



※☒ 6/24全員メール配信

PDF【重要】プログラム参加にあたっての要対応事項
【提出物・対応事項リスト】9番～13番を確認

必ず期日までにご対応ください。

単位についての諸注意



現地にて、語学研修プログラムへの取り組み姿勢に問題があると判断されるような事象が発生した場合は、奨学金の支給や単位の認定がされない場合もありますのでご注意ください。

NGな例：

- ・体調不良等特別な理由がないにも関わらず、プログラムへの出席率が悪い（もしくはプログラムへの参加姿勢に問題がある）と協定校から報告があり、協定校や本学の担当者からの注意にも関わらず姿勢が改善されないような場合
- ・個人の結果として協定校から修了証や成績評価証が発行されないような場合



プログラム終了時に現地で修了証を受け取った場合、帰国後にPDFや画像のデータで国際部へご提出頂きます。データで修了証を受け取った場合もご提出頂きます。

単位認定に必要となります。

修了証は捨てずに必ずお持ち帰りください！

日本出国前までに スマホ等の 必要設定・準備を 忘れずに！



必ず、各自で必要な設定や準備を調べて、設定や対応を行ってください。
設定漏れ等によって生じたスマホ等の料金は責任を負いかねます。

・海外でのスマホ利用は日本での利用とは異なる料金設定となっています。

・日本にいるのと同じ感覚で海外で通話やインターネットの利用をしてしまうと、高額請求となってしまうことも。自発的にインターネットを閲覧したり、SNSを見ていなくても、バックグラウンドで通信が行われることで課金が発生してしまうことがあるので注意が必要です。

